



## 1 子供の目輝く、LED工作!

11月27日(日)に、下大野文化祭が開催され、本校から『わくわく☆キラキラ★イリュージョン』をタイトルにした、LED工作を実施しました。

晴天に恵まれ、多数の来場者が文化祭を盛り上げていました。本校の体験コーナーも100人を超える参加者がありました。途中、福島伸享衆議院議員、高橋靖水戸市長にも参加頂きました。

体験コーナーに参加した小学3年生のルカさんは、友達を誘い「キレイに光る工作なので、みんなで来ました」と嬉しそうに話していました。



LED工作に見入る小学生



福島伸享衆議院議員(右)



高橋靖水戸市長(右)

100人を超える参加者のサイン

## 3 新聞を読む学生

本校では、「専門力」に加えて「社会人基礎力」の向上のために、新聞スクラップを実施しています。今回は、メタバースの記事について、1年生の要約、感想をご紹介します。

<記事> 日本経済新聞(2022年9月28日)  
「注目 メタバース」

### ◇要約

●小口大翔さん(友部高卒)  
インターネット上の仮想空間「メタバース」が注目されている。メタバースとは仮想空間上で限りなく現実の社会と同じような体験ができるのです。コロナ禍でメタバースを活用した市場は今後も拡大が予想されています。

### ◇感想

●作山翔梧さん(多賀高卒)  
メタバースは、仮想空間上のものなので現実と比べ、移動時間などが短縮でき、仕事の効率を上げることが期待できる。このようにITの発展によって現実の世界に多大な影響を与えることを考慮して学習していきたい。

●鈴木颯真さん(緑岡高卒)  
最近メタバースの活用が増えてきていると感じている。自分はあまり体験をしていないが、ゲームのような感覚でメタバースを使うことができると思う。コロナ禍が終えたとしても、ビジネス面では需要があると思う。

●柏海成さん(笠間高卒)  
自分自身と言えるアバターで人と会話したり、ゲームをして遊んだことがあり、対面と比べると顔や実際の姿が見えないので少し怖く感じることもある。コロナ禍でも人と関われるならメリットが大きいと思う。

●大津光さん(水戸商高卒)  
自宅にいながらショッピングや旅行に行ったりと現実世界と同じ体験ができるようになったと思う。現実ではあまり交流のない海外の方との関りが増え、新しい趣味が発見できるなど、人生で得られる経験が増えると感じた。

## 2 みんなの母校訪問!

県立友部高等学校  
県立IT未来高等学校



磯邊裕一 校長

県立水戸商業高等学校



山本俊之 校長

昭和53年(1978年)に開校し、45年目を迎えます。「TOMOBE TO MOVE ~未来へ躍動する友部高校~」をキャッチフレーズとしています。磯邊裕一校長は、卒業生の活躍を讃えていました。また、令和5年4月より『IT未来高校』に変わります。

明治35(1902)年に開校し、創立120年を迎える県下有数の歴史と伝統ある商業高校です。本県商業教育の拠点校として商業教育を牽引し有為な人材を数多く輩出しています。山本俊之校長から、本校に入学している学生に温かいエールを送っていただきました。

